

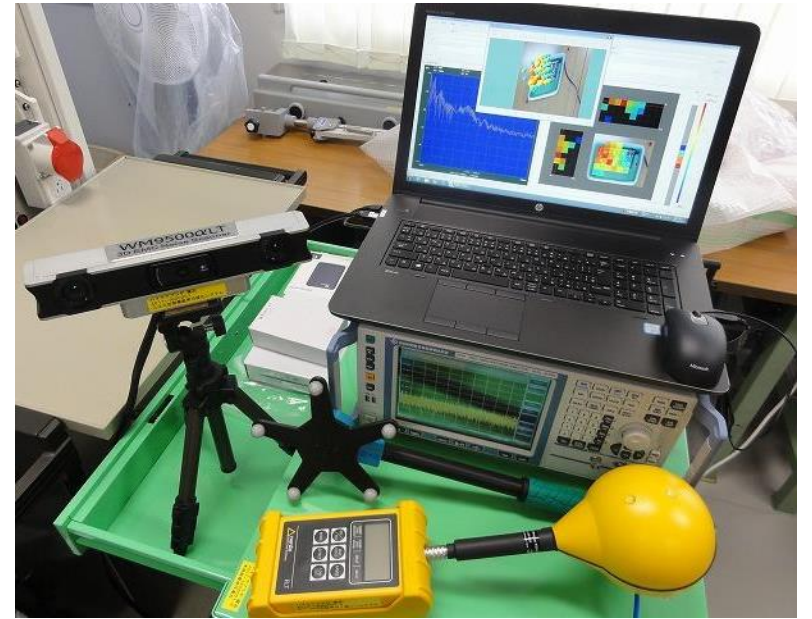
装置の概要

【型式等】

- 装置名称：三次元空間電磁界可視化システム
- メーカー：森田テック/ローテシヨウツ/東洋デック
- 型式：WM9500αLT/FSVR30/ELT-400

【仕様】

- 周波数範囲：100 kHz～1 GHz ※標準磁界センサー使用時
- 位置測定方式：赤外線反射方式
- 測定距離/幅：30 cm～2 m/1.5 m
- 表示方式：平面表示、3面表示、3Dマップ表示



家電製品から発生するノイズを3Dで可視化できます！

【装置の特徴】

三次元空間電磁界可視化システムは、電気製品や制御装置等から発生する電磁界の周波数と強度を測定し、カメラで撮影した画像・位置情報と合わせることで、三次元化された電界・磁界の空間情報として可視化できるシステムです。

電気製品の電磁界の可視化の他、ノイズ発生源の特定、低周波磁界の測定等にも利用することができます。

【主な用途】

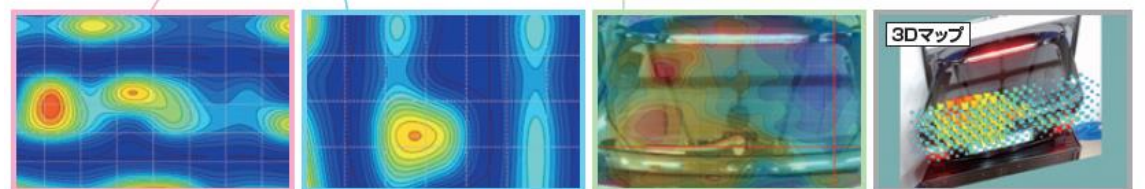
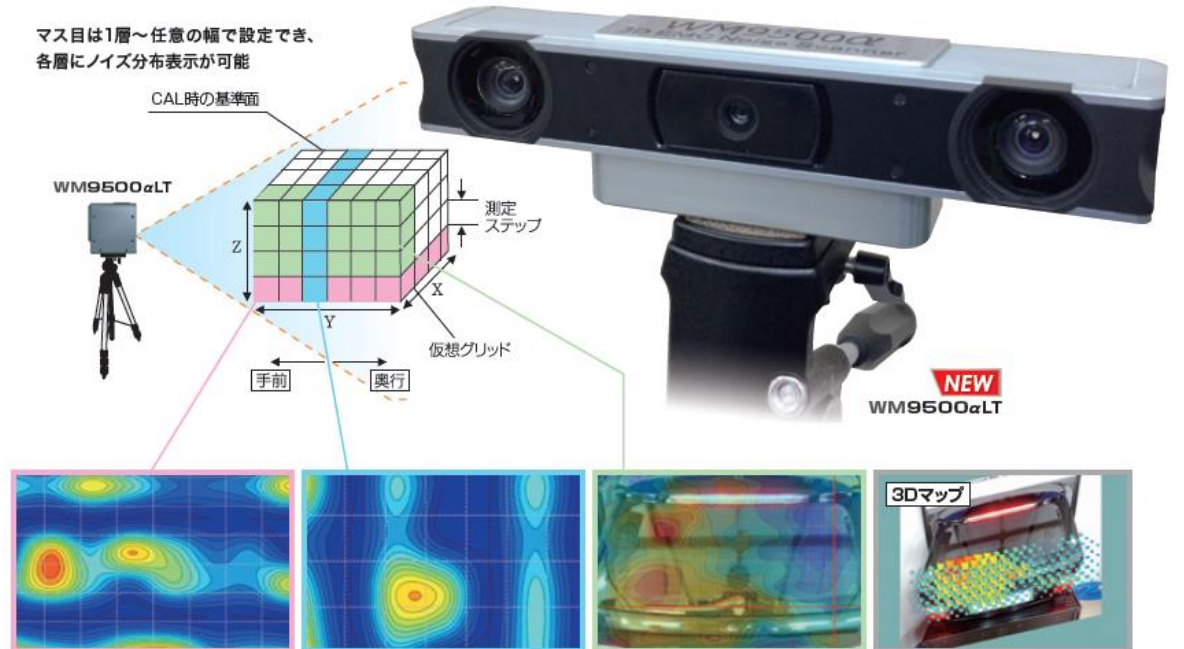
- 大型制御装置の電磁ノイズの可視化
- 電子基板のノイズ発生源の探索
- 家電製品の低周波磁界の測定
- 通信機器の指向性の可視化



＜標準磁界センサー＞

＜高周波電磁界センサー＞

＜低周波磁界センサー＞



＜測定方法と解析結果例＞

料金・問い合わせ先

	区分	単位	料金(円)
設備使用	三次元空間電磁界可視化システム (WM9500αLT)	1時間ごと	4,390
依頼試験	—	—	—

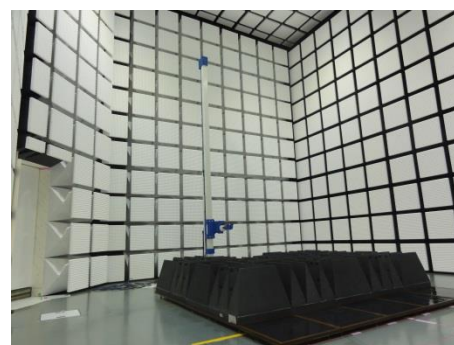
〒963-0297

郡山市待池台1丁目12番地

TEL：024-959-1738 (生産・加工科)

FAX：024-959-1761

併せて使うと効果的です！



電波暗室
(6,850円/時間)



ノイズ源探索装置
(4,050円/時間)

○その他の施設・設備は、福島県ハイテクプラザ 施設・設備データベースからご覧いただけます。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/w4/hightech/db/equipment/>

(令和2年6月)